

2025年10月27日、「省エネ診断」を実施しました

本日は、エネルギーの無駄や非効率な箇所を調査する「省エネ診断」を実施しました。効果的な省エネ施策を導き出すことが目的です。

省エネ診断では、リコージャパン(株)の専門家が工場及び事務所内を3時間程掛けてウォークスルーで調査し、照明や空調などを細かく確認していきます。

当社では、主に以下の事柄を確認しました。

- ・ 電力を使用する設備(モーターなど)が効率的に動作しているか？
- ・ 工場内に無駄な熱を放出する設備・配管はないか？
- ・ 日光が強くあたる窓には遮熱・遮光対策が施されているか？
- ・ 照明は効率的に設置されているか？(必要以上に明るすぎないか？)

以下は省エネ診断の様子です。



排水処理場のモーターを確認



乾燥機の温度を計測



事務所内の照度を測定



強い日差しを受ける空調室外機



集塵機の動作状況を確認

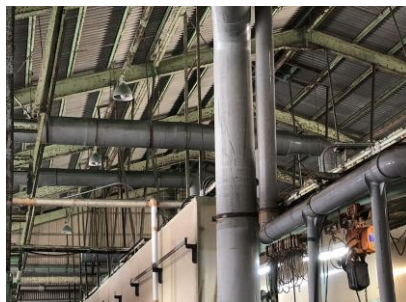


ボイラーからの放熱を確認

以下は当社が既に実施している省エネの取り組みです。



遮光対策が施された窓



天井ではなく作業付近に照明設置

工場内外を調査した後、スマート業務変革室 畝原室長から以下の話がありました。

「ラインごと、設備ごとの電力使用量”見える化”は概ね完了した。次は『エアコンフィルター清掃』など、職員が行なった作業実績を”見える化”するような仕組みを作っていきたい(例:省エネ活動実績がエクセルシートに集計されるなど)。」

「省エネ診断の結果は、経営会議で報告したのち、下半期の行動計画に入れるなどしたい。各現場が数字を意識し、自主的に動いてくれるような体制を作りたい。」

以上、脱炭素の取り組みを当社組織に根付かせたい気持ちが感じられる言葉でした。